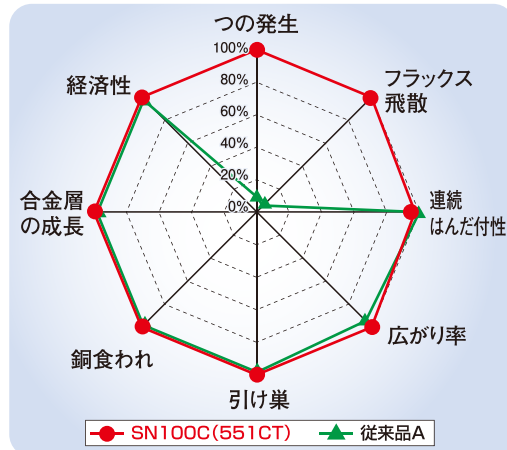


活性持続性向上 鉛フリーやに入りはんだ SN100C(551CT)



フラックス活性力の持続性に優れ、こて離れが良好でつゝの発生を抑制します。引きはんだ付やブリッジの修正等に最適な高信頼性やに入りはんだです。

- つの発生を抑制します。
- フラックス飛散を低減します。
- 引け巣・銅食われ・合金層の成長を抑制します。 (SN100C)
- 経済性が高い。

特長

つゝの発生

フラックス飛散

比較材料: ● SN100C(551CT) ● 従来品【合金:SN100C(Sn-0.7Cu-0.05Ni+Ge)・線径:0.8mm・フラックス含有量:3 mass%】

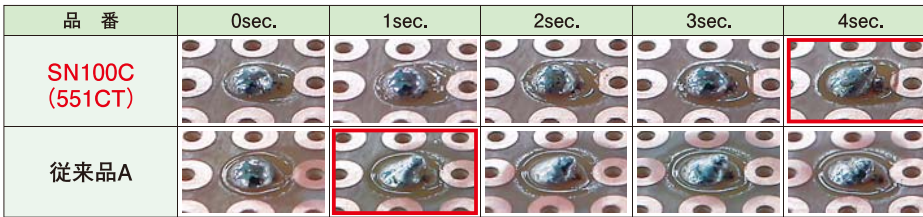
つゝの発生

つゝの発生を抑制します。

■加熱時間毎の外観写真

【条件】 温度 380℃

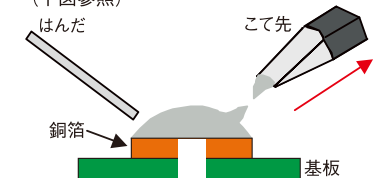
つゝの発生時間(sec.)



SN100C(551CT)	従来品A
4	1

【試験方法】

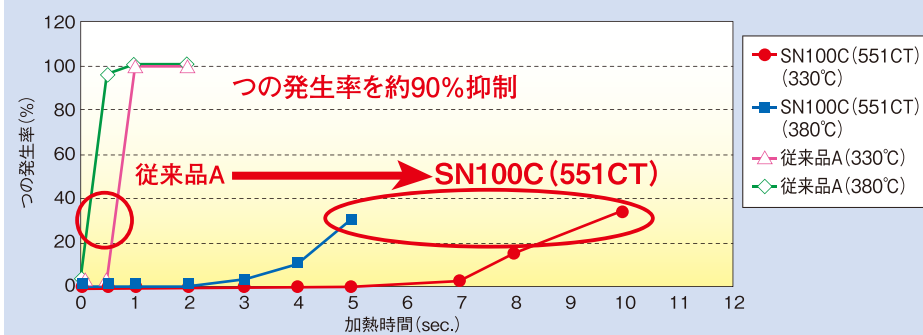
やに入りはんだを供給後、はんだこてを保持、その後こてを抜いた時のつゝの発生の有無を評価します。
100箇所はんだ付後、つゝの発生率を測定します。
※1箇所はんだ付毎にこて先をエアークリーン洗浄します。(下図参照)



【試験条件】

- ・試験基板: 紙フェノール片面基板
ランド径 3.0mm
穴径 1.0mm
- ・設定温度: 330℃、380℃
- ・加熱時間: 0.5~10sec.

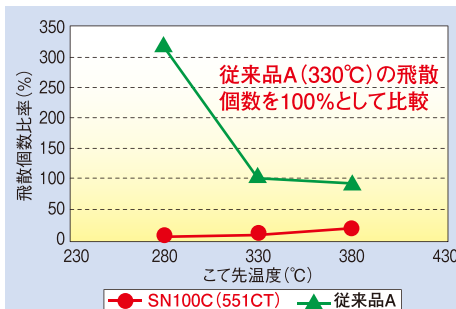
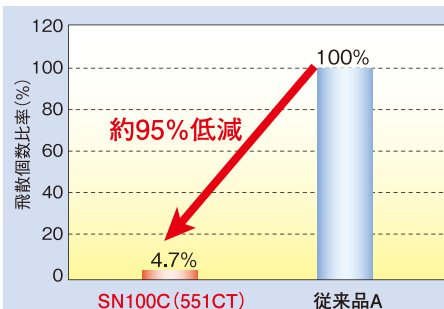
■加熱時間によるつゝの発生率



フラックス飛散

フラックス飛散を大幅に低減します。

■飛散個数比率(平均値) 280℃~380℃ ■こて先温度による飛散個数比較



【試験方法】

片面基板に銅線(φ1.0mm)を10本差し込みます。その上に捕集紙を置いて、こて先温度を280~380℃に設定したはんだこてで10箇所はんだ付します。その時のフラックス飛散個数を測定します。(下図参照)



【試験条件】

- ・試験基板: 紙フェノール片面基板
ランド径3.0mm 穴径1.0mm
- ・設定温度: 280℃、330℃、380℃

特 性

項 目	SN100C(044)	SN100C(040)	SN100C(551CT)	SN100C(510)	SN100C(030)	SN100C(010)	試験方法
合金組成	Sn-0.7Cu-0.05Ni+Ge						—
融 点(°C)	227						—
フラックスカテゴリ※1	ROLO	ROLO	ROL1	ROLO	ROLO	ROL1	ANSI/IPC J-STD-004A
ハロゲン元素含有の有無※2	無	無	有	有	有	有	—
フラックス含有量(mass%)	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	JIS Z 3197 8.1.2
ハライド含有量(mass%)	0	0	0.015以下	0	0	0.05以下	JIS Z 3197 8.1.4.2.1 IPC-TM-650 2.3.35
銅板腐食試験	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	JIS Z 3197 8.4.1
銅鏡腐食試験	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	JIS Z 3197 8.4.2
乾燥度試験	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	JIS Z 3197 8.5.1
絶縁抵抗値※3(Ω)	168hr	1.0×10 ⁹ 以上	1.0×10 ⁹ 以上	1.0×10 ⁹ 以上	1.0×10 ⁹ 以上	1.0×10 ⁹ 以上	JIS Z 3197 8.5.3 IPC-TM-650 2.6.3.3
マイグレーション試験※4	1000hr	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS Z 3197 8.5.4
広 が り 率 (%)	75以上	75以上	83以上	75以上	80以上	75以上	酸化銅板上のサンプル(コイル状) を380°Cで溶融後5sec.

※1 フラックスカテゴリ(活性レベル): ロジン系L0タイプ、L1タイプ

※2 ハロゲン元素: フッ素(F)、塩素(Cl)、臭素(Br)、ヨウ素(I)の4元素を示します。

※3 絶縁抵抗値: <small>くし形基板 85°C85%RH 168hr</small>

※4 マイグレーション試験: <small>くし形基板 85°C85%RH 1000hr</small>

はんだ付

はんだ付時の温度低下や温度回復性を向上させるために熱容量の大きなはんだこての使用をおすすめいたします。

包 装

500g/リール 10リール/カートン(5kg)

サイズ

線径(mm) 0.3、0.4、0.5、0.6、0.8、1.0、1.2、1.6、2.0

注) このカタログは2011年04月現在のものです。

仕様などの記載事項はあらかじめお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
本カタログに記載されているデータは特定の条件下によるもので、その数値を保証するものではありません。
使用時には前もって実際のご使用における適合性及びMSDSをご確認の上適正な取扱・管理・廃棄等を行ってください。
SN100CはJPNPAT.No.3152945/USPAT.No.6180055を含む24カ国地域で特許取得済み商品です。
完全ハロゲンフリー: ハロゲン元素(F、Cl、Br、I)の4元素を含んでいません。

www.nihonsuperior.co.jp

高信頼性 鉛フリーはんだ **SN100C**®の
詳細についてはホームページをご覧ください。

SN100C 株式会社日本スペリア社の登録商標です。
Registered Trade Mark of Nihon Superior Co., Ltd.

株式会社日本スペリア社

本 社: 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-16-15NSビル
TEL: 06-6380-1121 FAX: 06-6380-1262
東京営業所: 〒135-0042 東京都江東区木場2-7-15第一びる別館4F
TEL: 03-3642-5234 FAX: 03-3642-5257
名古屋営業所: 〒466-0059 名古屋市昭和区福江2-5-4-802
TEL: 052-882-6011 FAX: 052-871-2434
海 外: シンガポール・マレーシア・タイ・中国(蘇州・上海・香港)・台湾・アメリカ

本カタログに記載されていない製品やサイズについては
お問合せください。

